

群馬県教員育成指標 群馬県育成指標の概要

令和8年4月
群馬県教育委員会

第4期 群馬県教育振興基本計画 群馬県教育ビジョン

最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて

— ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成 —

自分で考えて、
自分で決めて、
自分で動き出す！

群馬県の教育が目指す
5つの学習者像

自らが主語となる学び
をつくり、深めていく

対話と交流により、信
頼関係を築いていく

生涯にわたり学び続ける喜
びを実感し、共有していく

多様性を尊重し、
互いに認め合う

社会課題を自分事
化して、行動に移す

I. 群馬県の教員として求められる基礎的な資質・能力

1. 子供たちと共に成長し続ける教員

- ・変わりゆく状況に柔軟に対応し、新しい物事にも前向きに取り組むことができる。
- ・子供が中心の学びとなるよう、子供たちの学びをリードしたり支援したりする「伴走者」としての役割を果たすことができる。
- ・子供たちを信じて、温かく励ましながら、「失敗を恐れない心」や「人につながる力」、「自分で考え、判断し、行動する力」などを伸ばすことができる。

2. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員

- ・教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら子供たちの可能性を伸ばすことができる。
- ・組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合うことができる。
- ・郷土の歴史や文化、生活等について理解し、保護者や地域、関係機関等と連携・協働することができる。
- ・高い倫理観と規範意識を備え、社会人として適切に判断して行動することができる。

3. 幅広い視野と高い専門性を有する教員

- ・教科等に関する専門的な知識や技能を有し、主体的・対話的で深い学びにより、子供たちに「たくましく生きる力」を育むことができる。
- ・情報化やグローバル化など社会の変化をとらえ、専門性を高めるために日々努力し、学び続けることができる。
- ・子供たちの実態や発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会の形成を目指すことができる。
- ・学校教育目標の実現に向けて、保護者や地域の思いや願いを生かしながら、組織的・計画的に教育活動を行うことができる。

II. ライフステージごとの求める資質・能力

< 群馬県の教員としての基礎的素養 >

主体性・学び続ける姿勢・研究能力

教育的愛情・豊かな人間性

対話する力・想像力

使命感・責任感

規範意識・倫理観・人権意識

< 育成の方向 >

教員として「子供が主語となる学びをつくり上げるための推進者」であるとともに、自らエージェンシーを発揮して、学校の未来を切り開いていくことができる。

教職課程修了時

キャリア段階Ⅰ
< 基礎形成期 >

キャリア段階Ⅱ
< 資質向上・充実期 >

キャリア段階Ⅲ
< 資質発展・円熟期 >

管理職

< 教職課程修了時 >

- ・周囲と連携・協働しながら、様々なことを自分事化する姿勢・態度
- ・教職の意義や教員の役割についての理解
- ・学習指導等についての基礎的・基本的な知識・技能
- ・社会人としての常識・識見
- ・地域への理解

など

< キャリア段階Ⅰ >

- ・児童生徒理解
- ・基礎的・基本的な指導力
- ・組織の一員としての自覚
- ・自己の課題を把握する力
- ・保護者や地域と連携する力 など

< キャリア段階Ⅱ >

- ・実践的な指導力
- ・周囲の教職員に助言する力
- ・関係する教職員と連携する力
- ・学校経営に積極的に参画する力
- ・保護者や地域と協働する力 など

< キャリア段階Ⅲ >

- ・学校全体の課題を把握する力
- ・課題解決に向けて具体策を提案する力
- ・組織的な取組に向けた企画力・調整力
- ・若手教員を育成する力
- ・保護者や地域との協力体制を築く力 など

< 管理職 >

- ・学校経営に関する専門的知識
- ・自ら学び続ける意欲・教育的愛情
- ・責任感・使命感
- ・総合的な人間力・対話する力
- ・的確な判断力・決断力・交渉力
- ・危機管理能力
- ・アセスメント能力
- ・ファシリテーション能力
- ・社会の変化に対応する力
- ・人材育成力

など